

キャリアプラン の 作り方

キャリアプランとは

- ◆ 自分の目標を設定し、
達成するための**プラン**を立てること
- ◆ 企業側はマッチング人材を確保したいため
必ず質問する
 - ・仕事でのモチベーション維持にも役立つ
 - ・キャリアプランに沿って自己開発を続けることで
就職活動でも成長が見込まれる

キャリアプランとは

面接における質問の例

- ◆あなたは5年後（10年後）どうなっていたいですか？
- ◆あなたの将来の目標は何ですか？
- ◆あなたのキャリアビジョンを教えてください
- ◆キャリアパスをどう考えていますか？

キャリアプランを作るために 最初にする事

自分の過去を見つめ直すところから始める (自己分析)

- ◆好きなことは何ですか？
- ◆嫌いなことは何ですか？
- ◆得意、不得意は何ですか？
- ◆興味があることは？
- ◆やってみたいことは？

自己分析の進め方

自己分析1 「価値観」

- ◆どんな業務で達成感を感じる？
- ◆学生生活で一番大きな成果は？
- ◆リーダーシップはあるほうか？
- ◆難題に挑戦することをいとわない？
- ◆安定を好むタイプ？
- ◆リスクを負える？
- ◆給与／仕事内容／ワークライフバランス／
挑戦できる環境／社風 <-優先順位は？

自己分析の進め方

自己分析2 「理想像」

- ◆ 将来どんな業種／職種で働きたい？
- ◆ どんな専門性を追求していきたい？
- ◆ どんな職位を目指したい？
- ◆ チームを束ねたい？（YES／NO）

自己分析の進め方

自己分析3 「スキル」

- ①得意・不得意
 - ②あなたのセリングポイント
 - ③理想に近づくのに不足しているスキルは何か
-
- ◆就職先のビジネスに活かせる自分の強みは？
 - ◆あなたの弱み・不足は？
 - ◆弱み・不足の克服に必要なスキルは？
 - ◆ハードスキル／ソフトスキル

キャリアプランを作るための キーポイント

時間軸イメージ

◆企業は「中期計画」←未来3年間プラン
1年、半期、四半期、月次毎に評価・施策・対策

◆キャリアプランも企業の成長戦略と同じよう立てる

①何年後に「理想像・イメージ」に達してきたいのか

②そのために投じるべき対策を3ヶ月・半年・1年・3年のタイムフレームを使ってイメージする

キャリアプランを作るための キーポイント

客観的チェック

◆実現性が十分かを客観的にチェックすること

「**SMART** ゴール」となっていること

「**S**pecific – 具体的」

「**M**easurable – 測定可能」

「**A**ttainable – 達成可能」

「**R**elevant – 適切」

「**T**ime-bound – 有期的」

キャリアプランを作るための キーポイント

最初に決めるべきこと = **自分が最終到達したい場所**

逆算の例) :

- 10年後上海の営業拠点マネージャーになる
- 今から5年後は、国内の主要営業所で実績を出す
- 今から3年後は、重要顧客担当営業で存在感ある人物となる
- 今から2年後は、社内及び自分担当の顧客から信頼感を得る
- 入社後1年間は、徹底的に顧客と向き合い、顧客のニーズを知る
- 入社後は、自社の製品を理解できるよう努力する

⇒ **目標に到達するために、やるべきことを細分化し計画を立てること**

キャリアプラン の答え方

重要な3つのポイント

「なにを」「いつまでに」「どうするか」

例) 海外事業部という部署で、得意の中国語を活かして3年以内にアジア圏内における人的パイプを作り、営業所の立ち上げに貢献したいと考えています。最終的には、上海営業所の現地所長として赴任したいと考えています。

・自分のキャリアプランと合わせて

会社の方向性を事前に掴み、
自分のキャリアプランに沿わせて伝える